

## 卒論・修論発表お疲れ様でした！

皆さん発表お疲れ様でした！  
年明け頃から卒論・修論を書き始め、その後すぐに発表準備と、慌ただしい日々だったと思います。私は発表が終わったのが嬉しくて、いま心置きなく自由な時間を満喫しています。この一年を振り返ると、コロナの影響で研究をリモートで行ったり、ゼミがオンライン開催になったり等、



最初は慣れない事ばかりで大変でした。そんな状況でも無事に卒論発表を終えることが出来たのは、沢山相談に乗ってくれて分からないことを丁寧に教えてくれた先輩方や、適切なアドバイスを下さる先生方がいてくださったおかげです。私はCPSの賑やかで誰にでも話しかけやすい雰囲気が大好きです。春から就職していなくなる方も沢山いると思いますが、これからは院に残る皆さんがこの雰囲気を引き継いで、研究室をより良くしていって欲しいと思います。なので、B3の皆さんは安心して先輩、先生方について行ってください。一年間、沢山お世話になりました！

執筆：田中 翔子

## 大掃除(2月22日～24日)

今回は研究室の土足禁止化に向けた最後の仕上げとなる清掃でしたが皆さんの協力のおかげで円滑に進めることができました。今後の研究室は土足禁止となりますので、引き続きご協力お願いします。前回の掃除に引き続きご協力いただきありがとうございました！



大掃除最終日の様子

執筆：湊田智彦(環境/整備係)

### ＼ 参加した学生の声 ／

前回の掃除では共有スペースがメインでしたが、今回は個人デスクやPC周辺の掃除や、私物を持ち帰ったりでより卒業を感じる掃除になりました。

執筆：綾部龍

今回の掃除では自分の机のまわりを掃除しました。今まで研究で使ってきた機器など、身の回りがスッキリして、もう卒業するんだなと実感しました。

執筆：村上綾





「Noël en France ～フランスでのクリスマス～」

筆者:坂口 大介(福田研M2)

今年の家籠りで特に書くことがない(笑)ため、去年の冬のことを紹介したいと思います。去年は12月の最初の1週間でフランスで過ごしました。以前から交流のあるブルゴーニュ大学へ訪問する福田先生のお供に、海外デビューの運びとなりました。この写真はクリスマスマーケットに遊びに出たときに飲んだホットワインです。赤ワインを鍋で煮詰めてアルコールを飛ばしシナモンなどのスパイスで甘めの味付けをしてあり、とても飲みやすくて…。フランスの冬は九州よりも寒くてコートが手放せなかったのですが、あったかい飲み物を飲んでひと時でも寒さを忘れることができました。皆さんも寒い中にもホッとするひと時はありますか??



「コロナ禍の冬の思い出」

筆者:山下 晃史(奥村研M2)

研究室の誰にも話したことはないのですが、将棋が私の趣味の1つです。文字数が足りないので一言で、一方的にその魅力を伝えます。「無限の可能性を感じることができる」のが将棋です。将棋は一局の平均手数が約115手で、各局面における可能な指し手が約80通りあると言われます。この場合、全体として約80の115乗のパターンがあることになり、10の220乗に相当するとか。選択肢が無限のようにあるため、とにかく底知れぬ奥深さがあります(既にこの発言が浅い...?)。皆さんも是非将棋を遊んで学んでみてください。ここまで、テーマに沿った話ではありませんでしたが、今冬の思い出は本榧という最高級の素材で作られた将棋盤を購入したことです。



「家族で温泉へ」

筆者:坂上 満哉(山口研B4)

私は今年コロナがあつて遠出しなかったのですが、去年の思い出を書かせていただこうと思います。私の祖母は広島の田舎に住んでいます。かなりのど田舎で、電話すると毎回イノシシやカラスなどの野生動物を話題に出しては、どうやって追い払っているかなど、彼らとの闘いの日々を話してくれます(笑)。そんな田舎に住む祖母ですが、最近では体が弱ってなかなか外出しなくなりつつあります。なので元気を出してもらおうと、家族と一緒に温泉と食事に行きました。特に食事は山陰の野菜や瀬戸内海の海の幸を使った料理で、普段食が細い祖母も完食しており、相当おいしかったらしく、少し元気が出ているようで嬉しかったです。



画像引用元

<https://www.jkougen.jp/kankou/pages/sisetu-p/yukkura.html>



トークテーマ

## 学生生活を振り返って

### 研究の楽しさ、難しさ

**江口** 研究室に入ってからの先輩たちの思い出を聞きたいです。

**深見** 学部のころ、研究室入ってからは、ずっと研究室にいたよね。

**添島** 遊んでたね…。研究室にずっといた。遊んでたけど、研究室にいることも大事だと思う。少しずつ研究してたからね。

**深見** 来たら、ついでにパソコン触るかってなって、研究室に来るのは大切だと思った。

**村上** 1年生の時授業がめっちゃあったけど、1年生の時の方が一生懸命遊んでたよね。2年生は、コロナだったから余計にどこも行けなかったよね。

**江口** いま、研究の話があったんですけど、研究のここが楽しかったよ、難しかったよというところはどこでしたか？

**深見** 結果出すまでは試行錯誤だから難しいけど、やっぱ結果が出た時は、楽しいよね。学部のころまでは、結構うまくいったけど、そこからちょっとだけ手法を変えて、そうしたら、厳しかったけど。

**村上** みんなスランプあったよね、楽しい時は楽しいけど。添島君は環境構築とかで大変だったよね。全員、ちょこちょこあったよね。

**添島** 詰まったけど、うまくいくと楽しかったよね。俺らほど、常に研究室にいるような代いなかったよね。聞ける環境があったのはよかったと思う。4年の時、先輩がいたとしても、いつも研究してて、俺らは遊んでたから、聞きやすいついていうのはあったよね。最初は怖く見えるところがあると思うからね。

**深見** 研究が難しいっていうのは、ゼミがある1週間という区切りの中で何とかして話す内容を作り出さなきゃいけないっていうのが慣れない、慣れるまでがね大変だった。難しいのはペース配分が一番難しいのかなと思う。ゼミが終わって5日くらい遊んで、残り2日で急いで進捗を仕上げるみたいなことを



**深見** 1回やっちゃって、それで話す内容がなかった。だから、ゆっくり毎日ちょっとずつ進めるっていうのが一番いい研究スタイルだね。

**村上** 別に、ずっといやだったわけではないな。難しかった話だと、私は、4年生のときは違う研究をしていたことかな。研究室に配属されたときに実際に研究を取り組んでみたら、自分はハードウェアに向いてないことに気付いた。修士に上がった時にテーマを変えたんだけど、反対されてて、先輩にも変えても結局つまづくよって、どの研究にも同じ悩みはあるよって言われた。けど、私は結果的に変えてよかったなと思う。何がって言われると難しいけど…。あと、目に見えた成果が出ることを求めすぎて、先生は進んでるよと言ってくれるけど、みんなの研究が形になってて、自分は成果がないっていうのがズズンってなっていた時期があった。それで先生には結果を求めすぎて言われてた。あまり進んでないように見えるかもしれないけど、人が進んでても気にしないっていうのが大事だと思う。人と比べないっていうのを3年間で学んだ。

**深見** 隣の芝は青く見えるだね。そもそも研究したいと思って、院に入ってきているから、研究自体はそんなに苦じゃない。きついところもあるけど、総合的に言ったら楽しくはある。ずっと厳しい厳しいって言うけど、厳しかったら、学部のころから就職してるはずだから、心のどこかには楽しく研究やってるっていうのがあるよね。

**村上** 簡単なことでも、自分の書いたコードが動いたとかでも楽しかったりするよね。意外と簡単なところでミスしてたっていうので気付いて、書き直して動き出したりしたら楽しいなって感じがする。

(次頁へ続く)



## やりたかったこと、やってよかったこと

**江口** 研究以外でやりたかったこととやってよかったことはありますか？

**添島** やりたかったことは、飲み会でしょ。全体で。

**深見** もうちょっとイベント増やしたかったよね。

**添島** 来年はいっぱいやれよっていうのはあるよね、だって、仲良くなるからさ。

**村上** やっててよかったことは、学生っぽいこととか、夜中急にみんなで思い立ってどこかに食べに行くとかね、次の日暇だからどこかでかけようって友達と車ででかけたり、社会人になったら絶対できないから。そういう思い出作り、今しかできないことを、研究もしないといけないけど、空き時間に寝ずに行動することとかかな。

**江口** いろいろ話の中で後輩へのメッセージ盛りだくさんだったと思うんですが、最後になにかあったらお願いします。

**添島** その前に、逆に聞きたいわどうだったか、今年一年。先輩像としてちゃんとできてたかどうかだったかて感じ？思ってたイメージと違うとか気になる。

**江口** 4年生のほとんどが思ってるだろうなてことは、先輩たちすごいなってことだと思います。最初、研究を見てて、何回聞いても何やってるか全然分からない状態から始めて、いざ、研究に触れていったら難しいなって。でも、先輩たちは毎週進捗うんでてすごいなとか、聞いたら、何でも答えてくれるし、1聞いたら10返してくれるので優しいなって思ったり、遊びとかも誘ってくれたりしてて、イメージしてたアットホームな感じがそのままでした。あと、先輩たちとトランプするのとか楽しかったです。

**添島** あそこね、404のあの場所いいよね。うん、よかったわ。それが4研の良い伝統だと思う。



## 後輩へのメッセージ

**深見** できれば引き継いでってほしいなという感じ、この流れ、空気感をね。あと、同期が多いから、分からないことは知ってる人に投げることができるよね。

**添島** そうだね、後輩へのメッセージは、“分からないところはすぐ聞け”だね。たぶん、俺らの代だけじゃないと思うけど、後輩から聞いてくれるのはすごい嬉しい。それでね、仲良くもなれるしね、最初は上からも難しいからね。

**村上** 研究の進捗もそうだけど、何も進まなかったときに、進まなかったことを隠すのは良くない。けど、“こういうことで今困ってるよ”という発表をするのも、先輩から話が聞けたり、先生が“じゃ、それがだめだったら違う方向で”ってなったりするから。できなかったことを、さぼったりしていることを、隠しちゃうのが一番良くない気がする。

**深見** 詰まってるところは、大概、自分たちが一回通ってきた道の可能性があるから。それで詰まってた時に、言ってくれたらここはこうしたほうが良いよって言えるときがある。だから、すぐ言ってくれた方が助かるよね。

**添島** そう。だから来年いっぱいおしゃべりするんよ！後輩と。あと、先生とも仲良くなってほしいと思う。部屋に遊びに行くくらいコミュニケーション取った方がいいよ。

**村上** 今年は、係の立ち上げとかがあったから大変だった。それですごいみたいに言ってくれるけど、自分らも4年生のときM2の先輩がすごいなって思ってたけど、毎年みんな成長するからそんな気を負わずに頑張ってもらいたいと思う。係も整ったし、すごいしやすくなったんじゃないかなと思ってる、前よりは。

**深見** 進学する子たちは、自然体で気負わずにやってくれるのが一番かなと思う。

**添島** 君らの代は仲間が多いからね、超助け合えと思う。

**江口** 確かに、誰かがいるっていうのは大事かもしれないですね。

参加者の皆さん、ありがとうございました！

# BON VOYAGE!!

## 1. この1年を振り返って

ちょうど1年前に、山下君、溝口君、宮田君と共に、ベトナムから帰国して、その直後にベトナムUITの学生を招いたころ、その後今日に至る1年間にこんな不自由な厳しいものになるとは全く予測できませんでした。しかし、その厳しい状況の中でも、何さんの博士号の取得、バレンティン君の大学院入学、SPACEの学生の受入、M2の学生さんを中心とした自主的な研究室運営、インターネットを上手に使った遠隔ゼミや研究遂行など、それぞれが「今できること」を、試行錯誤しながらもそれなりにできた1年だったと思います。



## 2. 3年生、M1、次年度大学院進学する皆さんへ

鬼滅の刃じゃありませんが、文字通り研究室の「柱」であったM2の皆さんや4年生が多数修了、卒業してしまうため、研究室運営や自分の研究の遂行に関して、大なり小なり不安があると思います。でも、必ずしも先輩と「全く同じ」にする必要は全くありません。PDCAサイクルを働かせて、良かった点はより発展させ、反省点は活かし、無理や無駄を省きつつ負荷が過大にならないように効率的に行う術を在学中に身につけましょう。皆さんのご協力やご努力に、スタッフ一同期待しています。

## 3. 社会へ巣立つ卒業生、修了生へ

M2の皆さんとは3年間、B4の皆さんとは一年半の間、教員サイドからの無理難題に耐えて、とてもよく頑張ってくれたと思います。これから皆さんは、新社会人としてスタートを切る訳ですが、(1)心身共に健康に充分気をつけること、(2)社会人としてのモラルや善悪の判断基準をしっかりと持つこと、(3)どんな会社、配属部署、仕事内容であっても、「その先にある(自分を含めた)人々の幸せな顔を目指」にすることを心がけてください。目の前のプログラムコードの先には、必ずそれを利用する人々の生活、財産、健康、安全、信頼があります。在学中と比較して、重い責任や重圧があるとは思いますが、その重圧をぜひ「やり甲斐」に昇華して欲しいです。そして、落ち着いたら、是非元気な顔を見せに、キャンパスを訪れてください。また会いましょう！！

執筆: 奥村 浩

## 編集後記

こんにちは、広報係の山口です。

修論、卒論の時期と被り、2月末の発行となり、申し訳ありませんでした。今回は、村上さんが引退されたので、4年の2人だけでの初めての作成となりました。村上さんが作り築いてこられたクオリティを保てるように頑張っていきたいと思います。対談企画では、予定した日に予想外の雪が降り、オンラインでの開催となりました。また、次回の発行もお楽しみに！

お問い合わせはコチラまで

山口 (17233058@edu.cc.saga-u.ac.jp)

高柳 (17233025@edu.cc.saga-u.ac.jp)